

# みつぎ便り

117号  
6月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと  
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに  
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成28年6月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>

リニューアル

金網から今回（平成二七年十二月十一日〜平成二八年三月十五日）擬木の柵ができた公園の景観がぐつと良くなりました。

もう七年も前になりますが、凸版印刷の地下のタンクからトルエンが漏れたニュースが流れ公園を利用するみんなが驚きました。

その後、皆様の努力で六価クロム、トルエンは基準値以下になり、心配ないまになりました。柵の空き地にはヒイラギナラン、セキショウ、ハナシヨ



ウブ、オモダカ等が植えられました。

そしていつか、以前のように子供達が小川の水の中に入ってザリガニ等を捕る姿が見えるようになるといいですね。（直）

オランダガラシ（クレソン）

見次公園の唯一の湧き水から池へ流れる小川に今年もオランダガラシ（別名…クレソン）の白い花が咲きました。クレソンはフランス語名だそうで、皆さんご存じのとおり、食卓のサラダにまた、肉料理の付け合わせにと脇役ではありますが良く目にします。失礼！最近では、栄養豊富で最強の食材として様々な料理に数多く使われ、レシピもたくさんあるようです。

オランダガラシは、ヨーロッパ原産で、日本では栽培していたものが野生化して全国に繁殖したようです。小川、用水など流れの中、水辺によく見られます。

繁殖力がたいへん強く、途中から切り取った茎を水の中に入れておくと発根します。四月〜



六月頃に、直径五mm位の白い小さな花が咲き、その後、アブラナ科特有で棒状の長さ一〜二cm程の小さな果実（種）ができます。この果実の部分から香辛料の芥子をとるカラシナのように、葉や茎に辛みがあるのでオランダガラシ（和蘭芥子）の名が付いたようです。

この四月、湧水辺りの整備、改修工事も終わり公園の池に注ぎ込まれる水の流れも生き返りオランダガラシも喜んでいと思っています。

皆様もくれぐれもゴミなど捨てることのないように心がけましょう。（圭）